



2023 年 6 月 1 日

当社版シャドーボード「未来創造推進ワーキンググループ」の新設について

株式会社ひろぎんホールディングス（社長 部谷 俊雄）では、主に 20 代～40 代職員によるシャドーボード（影の取締役会）の役割を担う委員会組織を下記のとおり新設しましたので、お知らせいたします。

今後とも、地域・当社グループの豊かな未来の創造に向けて、幅広い世代のグループ従事者が一体となって、地域の課題解決と持続的な成長への貢献および当社グループの中長期的な企業価値の向上に向けた取組みをより一層推進し、当社グループの経営理念の実現を図ってまいります。

記

1. 実施内容

(1) 「未来創造推進ワーキンググループ」の新設

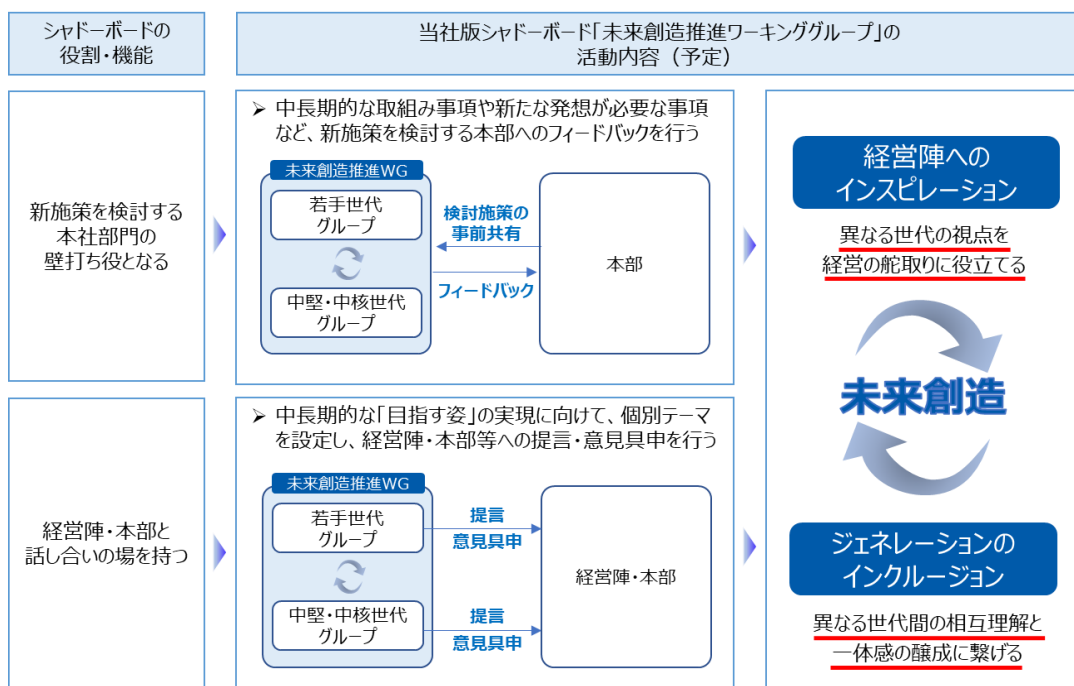
「グループサステナビリティ推進委員会」（委員長：代表取締役社長）傘下の下部組織（専門部会）として、「未来創造推進ワーキンググループ」を新設しました。

(2) 「未来創造推進ワーキンググループ」の活動内容（予定）

「未来創造推進ワーキンググループ」は、若手世代および中堅・中核世代の 2 つの世代別のサブグループにより、地域・当社グループの未来創造に向けた取組み推進に関する事項について審議・検討を行い、その内容等について、経営陣や本部等に対して提言・意見具申等を行うなど、シャドーボード（影の取締役会）としての役割を担っていきます。

※ シャドーボード（影の取締役会）：

若手～中堅・中核社員から構成されるグループの組織内に位置づけ、経営陣や本部との間で経営課題等について定期的な話し合いの場を持つ仕組みのこと。



2. 実施目的

(1) 異なる世代の視点を経営の舵取りに役立てる

中長期的な経営課題等に関する審議・検討プロセスの中で、世代間の知見をつなぐ仕組みを構築することで、経営意思決定に役立てることを目指します。

(2) 異なる世代間の相互理解と一体感の醸成に繋げる

幅広い世代の職員に「自らの意見で地域や当社グループの未来を変えていく」というチャレンジ機会を作り出すことで、グループ従事者のエンゲージメントを高めるとともに、地域・当社グループの未来創造に向けてチャレンジする企業文化の醸成を図ります。

【参考】本施策の背景・経緯：「未来創造タスクフォース」の取組み

当社グループでは、2022年10月に、若手社員の意見を経営に取り入れるための取組みの一環として、主に20代の若手社員による「未来創造タスクフォース」を結成しました。

同タスクフォースに参加した若手社員16名は、半年間の討議活動のうえ、2023年3月に、「地域・当社グループの目指したい／目指すべき10年後の未来像」について、取締役会メンバーへ提言を行い、2023年4月、当社取締役会は、「未来創造タスクフォース」提言を踏まえて、今後の戦略・施策等への反映・活用の検討方向性について、議論を実施しました。

以上の背景・経緯のもと、若手社員による提言を踏まえた実施施策の一環として、さらに幅広い世代の多様な知見や思い・価値観を経営に反映させるプロセスを、単発施策ではなく継続的な仕組みとして当社グループ内に構築するため、本件、実施するものです。



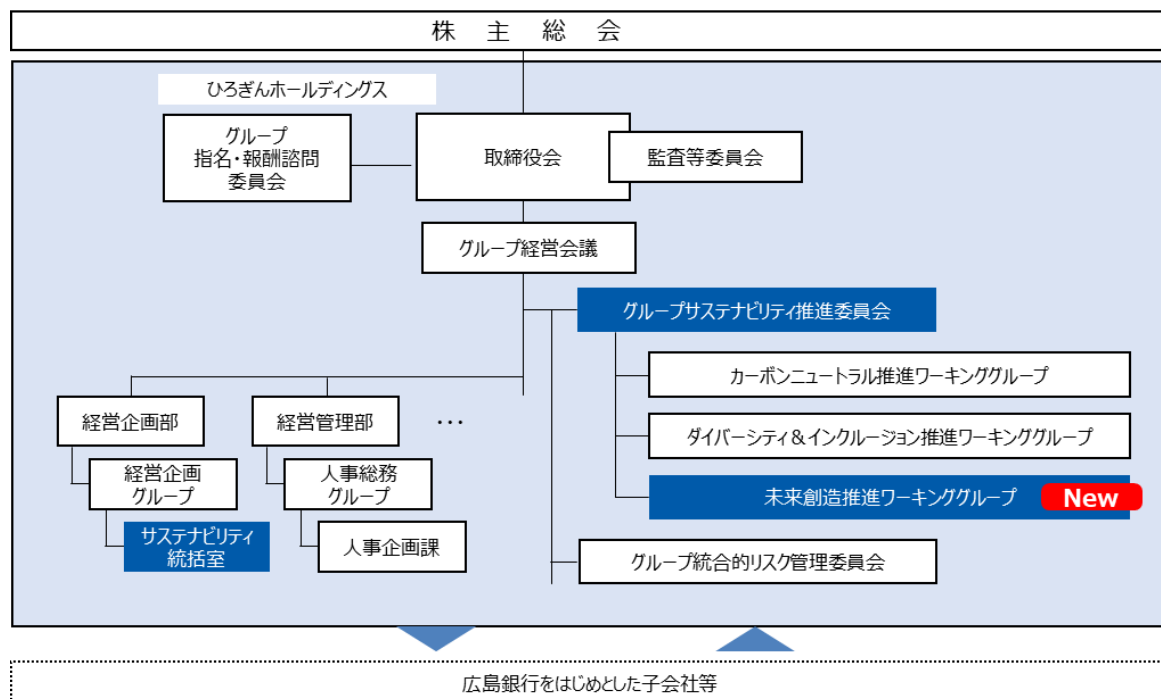
3. 実施日

2023年6月1日（木）

※ 新設する「未来創造推進ワーキンググループ」は、今後、社内公募によるメンバーの募集・決定、討議する個別テーマの選定等を行い、2023年8月より、活動を開始する予定です。

以 上

【参考】サステナビリティ推進体制図（2023 年 6 月 1 日現在）



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当社グループでは、SDGs への取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs 17 の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】

2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての 2030 年までの世界共通目標。

持続可能な開発のための 17 の目標と 169 のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ひろぎんホールディングス
経営企画部 経営企画グループ サステナビリティ統括室
TEL (082) 245-5151 (代表)